

## 堺市立フォレストガーデン「樹木粉碎機」 仕様書

**1 趣旨**

この仕様書は、堺市立フォレストガーデン指定管理者へ貸与する備品等（Ⅰ種）のうち、樹木粉碎機の遵守事項及び維持管理等について定めることを目的とする。

**2 主要諸元**

品 名	ウッドチップパー
型 式	KCM141DX
全長×全幅×全高	1630×710×1330mm
重 量	370kg
処 理 径	最大 140mm
燃 料	自動車無鉛ガソリン（燃料タンク 6.1 リットル）

**3 貸与の目的**

市から貸与された機械（以下「貸与機械」という。）は森林環境譲与税を活用した備品であることから、森林の公益的機能や森林整備の意義、もしくは木材利用の意義を伝える普及啓発事業を実施するため、これを無償で貸与するものとする。

**4 貸与機械の管理**

指定管理者は、貸与機械を善良な管理者の注意をもって管理し、本来の用途以外に使用してはならない。また、市の承諾なく第三者に転貸し、又は担保に供してはならない。

**5 安全対策****（１）安全講習等について**

共立ウッドチップパー（KCM141DX）の取扱説明書を必ず熟読し、使用方法等を十分に理解したうえで、安全対策を徹底すること。また、年に１回以上の安全講習会を実施し、作業員への周知を図ること。

**（２）作業に適した作業着、保護具の着用**

- ア 作業を行う際には保護メガネや手袋等を着用し、安全に配慮すること。
- イ 投入物に引っ掛かり、引き込まれる可能性のあるものは着用しない。

**（３）作業中の注意**

- ア 作業時は投入口及び排出方向に人がいないことの確認を行い、作業員以外に人が近付かないようにしてから、作業を行うこと。
- イ 粉碎物を投入した際に材料が暴れ、投入口から破片が飛び出してくる場合

があるため、作業を行う際は投入口の正面に立つのは避けること。

- ウ エンジン始動中及びローター回転中は正面ホップのチップガードより奥に手を入れないこと。短材を投入する際は、棒等で押し込むようにすること。
- エ 金属類やロープ、土砂、石、ビンなどの異物は粉碎前に取り除き、投入しないこと。
- オ 運転時は回転部に身体を近付けず、排出口から手を入れないこと。

## 6 維持管理

### (1) 点検・整備について

- ア 使用前においては点検表（別表 1）に基づく点検を実施し、その記録を適切に保管すること。なお、点検記録は定期報告書に添付のうえ提出するものとする。また、点検において異常が認められた場合は、使用してはならない。
- イ 整備・点検の際はナイフの刃先でケガをする恐れがあるため、必ず保護手袋を着用すること。

### (2) オイル等の消耗品について

- ア 点検表の使用時間を参考にし、定期的に古いオイルを抜き取り、新しいオイルを規定量給油すること。オイルの規格や量については下記表に従うものとする。

	オイル	規定量	交換時間（目安）
エンジン	SAE10W-30 または 10W-40、 SE 級以上	1.1 リットル （ゲージ付）	100 時間毎
走行ミッション	ギアオイル # 80	0.7 リットル	200 時間毎 （走行）
パワーパック	ISOVG46 相当粘度	3.0 リットル （ゲージ付）	300 時間毎

- イ 給油はエンジンが十分に冷えてから行うこと。また、給油中にこぼれた燃料は必ずふき取ること。
- ウ オイルの給油を行う際は、圧縮空気やブラシ、布などで泥土、ほこり、草屑等を落とし、これらがタンク内に入らないようにすること。

### (3) 清掃について

- ア 作業終了後は、水洗いをして機械についたほこり・木屑・泥土等を洗い落

とすること

イ エンジンまわり電装品は水洗いせず、圧縮空気やブラシ・布などでほこり・木屑・泥土等を落とすこと

(4) 保管方法について

ア エンジンキーは必ず機械本体から抜き、厳重に保管すること。

イ 雨などにより濡れないようにして保管すること。

ウ ワイヤーを設置するなど盗難防止対策を行うこと。

エ 長期保管する際はエンジンが停止するまで運転し、燃料を切らすこと。

(5) 機械の修繕について

機械の修繕に関して、基本協定書第 2 1 条第 3 項に基づき、1 件につき 3 0 万円を超える場合かつ、当該修繕が指定管理者の責めに帰すべきものでないときは、堺市と指定管理者との協議の上、堺市の負担において行う。

上記の事由以外の修繕に関しては、指定管理者の負担により修繕を行うこと。

## 7 事故報告および損害賠償

- (1) 指定管理者は、貸与機械について事故、盗難、亡失または損傷（以下「事故等」という。）が発生したときは、直ちに市に報告し、その指示に従わなければならない。
- (2) 事故等が、指定管理者の責めに帰すべき事由により生じたときは、指定管理者は自己の責任と費用において、当該機械を原状に復し、または市が被った損害を賠償しなければならない。

## 8 第三者への損害賠償

- (1) 指定管理者が貸与機械の管理および使用に当たり、自己の責めに帰すべき事由により第三者に損害を与えたときは、指定管理者がその賠償の責めを負うものとする。
- (2) 前項の規定にかかわらず、当該損害が市の指示その他市の責めに帰すべき事由により生じたものであるときは、この限りではない。  
指定管理者が第三者に損害を与えたときは、基本協定書に定める事故報告書により堺市に報告を行うこと。

## 9 保険の加入

- (1) 指定管理者は、前記 7 及び 8 の賠償責任を担保するため、自らの負担において適切な損害保険（施設賠償責任保険等）に加入しなければならない。
- (2) 市は、必要があると認めるときは、指定管理者に対し保険証券の写しの提出を求めることができる。

## 10 返還

- (1) 指定管理者は、指定期間の満了等により業務を終了するときは、貸与機械を速やかに市に返還しなければならない。
- (2) 返還に当たっては、通常の経年変化を除き、清掃および適切な整備を行った状態で返還するものとする。

## 11 その他

取扱説明書をよく読み、本仕様書内に記載されていること以外の説明においても、取扱説明書に記載されていることを遵守すること。

## 点 検 表

点検項目	日付	/	/	/	/	/	/	/
本機に枯葉や木屑など堆積物ないか								
本体各主要部のネジの緩みはないか								
エアフィルタは清掃されているか								
各部のグリスアップ（グリースはリチウム系）や注油を行ったか								
燃料漏れや燃料ホースの損傷は無い								
エンジンオイルの汚れと量を確認したか 必要があれば交換または補給をしたか								
ナイフの取り付けネジの緩みを点検、増締めを行ったか								
ナイフの欠損・摩耗を確認したか 必要があれば研磨または交換をしたか								
ベルトやチェーンの伸びや摩耗を点検したか 必要があれば調整または交換をしたか								
エンジン、クローラの清掃を行ったか								
使用時間		H	H	H	H	H	H	H